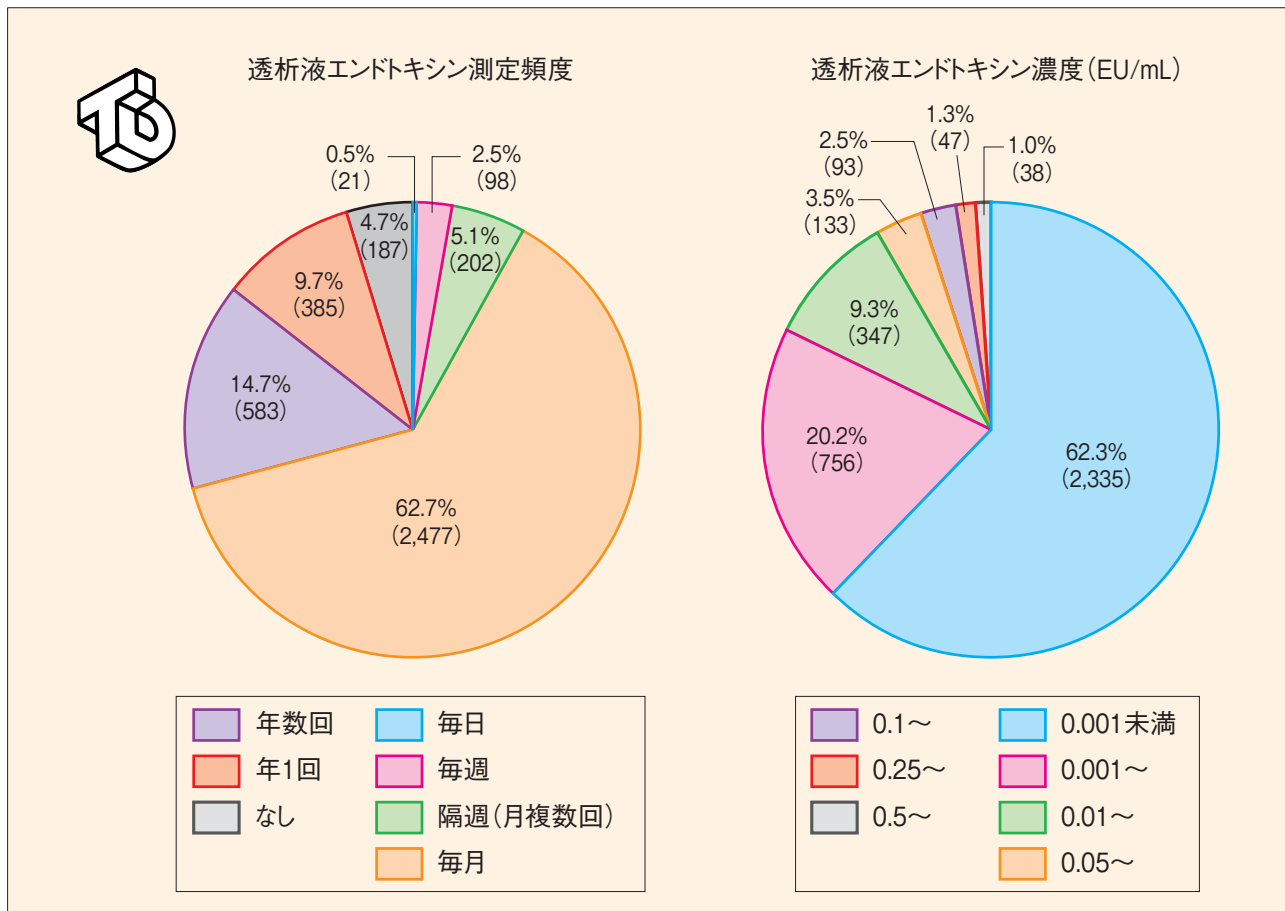


1) 透析液水質管理状況

(1) 透析液エンドトキシン検査 (図表22)



透析液エンドトキシン測定頻度	毎日	毎週	隔週(月複数回)	毎月	年数回	年1回	なし	合計	不明	記載なし	総計
施設数	21	98	202	2,477	583	385	187	3,953	90	22	4,065
(%)	0.5	2.5	5.1	62.7	14.7	9.7	4.7	100.0			

透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	0.001未満	0.001~	0.01~	0.05~	0.1~	0.25~	0.5~	合計	不明	記載なし	総計
施設数	2,335	756	347	133	93	47	38	3,749	103	213	4,065
(%)	62.3	20.2	9.3	3.5	2.5	1.3	1.0	100.0			

施設調査による集計

解説

透析液エンドトキシン濃度測定は1台以上のコンソールを有する4,065施設中3,953施設(97.2%)から回答があり、昨年度と比較して3.2ポイント増加した。回答施設の95.3%で少なくとも年1回以上の透析液エンドトキシン濃度測定が行われており、この割合は前年比6.1ポイント増であった。日本透析医学会水質基準の月1回以上の測定は、70.8%の施設で行われており昨年の36.1%と比較してほぼ倍増した。2010年の透析液水質確保加算算定の影響が示唆される。

透析液エンドトキシン濃度は3,749施設(93.3%)から回答が得られた。日本透析医学会水質基準の0.05EU/mL未満は91.8%(2009年末84.2%)で達成されており、昨年と比較して大幅に改善した。0.5EU/mL以上の施設割合が2009年末の3.2%から1.0%に低下しており、2008年のエンドトキシン濃度表記単位の変更(EU/LからEU/mL)が周知徹底されてきたものと考えられる。